

事務事業チェックシート

事務事業No 345 事業名 難病患者地域支援対策推進事業

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	5	保健医療対策の推進
基本方針	2	難病患者への福祉サービス制度の啓発・支援の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		保健所費	
	大事業		保健所事業	
事項		難病患者地域支援対策推進事業		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	永年	～	
事業実施の根拠法令	難病特別対策推進事業実施要綱		
関連個別計画	地域保健医療計画	障害者計画	
担当課・担当課長 (Tel)	保健対策課	小浦保則 (488-5115)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	障がい者福祉の推進			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	難病患者の在宅療養の適切な支援を行い、安定した生活の確保と生活の質の向上を目的とし、病気の専門的な知識を患者に知ってもらおう。	①訪問相談事業 保健師・看護師が患者宅へ訪問し、要支援難病患者やその家族が抱える日常生活上・療養上について、患者等のプライバシーに配慮しながら個別相談、指導、助言等を行なう。  ②医療相談事業 難病患者等の療養上の不安解消を図るため、難病に関する専門医、看護師、社会福祉士等により医療相談会を開催し、相談事業を実施する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		難病患者を対象に医療相談会、個別・訪問相談を実施した。 医療相談会のテーマ ・特発性血小板減少性紫斑病の理解と治療について ・膠原病に合併する血液障害の理解と日常生活の留意点 ・後縦韌帯骨化症及び関連疾患の理解と日常生活の留意点	難病患者を対象に医療相談会、個別・訪問相談を実施した。 医療相談会のテーマ ・パーキンソン病のリハビリテーションについて 対象が多いため2回に分けて実施 ・原発性胆汁性肝硬変について	難病患者を対象に医療相談会、個別・訪問相談を実施する。	難病患者を対象に医療相談会、個別・訪問相談を実施する。	難病患者を対象に医療相談会、個別・訪問相談を実施する。

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	225	214	260	284	282		282		282		
	伸び率 (%)	-	-	15.6%		8.5%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	2,157	2,198	2,148	1,848	2,148		2,148		2,148	
		非常勤職員	1,254	602	603	1,647	603		603		603	
		小計	3,411	2,800	2,751	3,495	2,751		2,751		2,751	
	国庫支出金	112	107	130	142	141		141		141		
	県支出金	0	0	0	0	0		0		0		
	市債	0	0	0	0	0		0		0		
	その他	0	0	0	0	0		0		0		
	一般財源 (税等)	113	107	130	142	141		141		141		
	所要人数	常勤職員	0.29	0.29	0.29	0.25	0.29		0.29		0.29	
		非常勤職員	0.57	0.29	0.29	0.84	0.29		0.29		0.29	
主な予算内訳		報償費 127千円 旅費 114千円		需用費 16千円								

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	医療相談会の開催回数				年度目標値	3	3	3	3
					実績値	3	3		
	単位	回	全体目標値	3	全体目標達成度	100.0%	100.0%		
					年度目標値				
					実績値				
成果指標	医療相談会参加者数				年度目標値				
					実績値	83	122		
	単位	%	全体目標値		全体目標達成度				
					年度目標値	100	100	100	100
	難病患者延べ訪問件数				年度目標値	83	92		
					実績値	83.0%	91.0%		
単位	人	全体目標値	100	全体目標達成度	91.0%				

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>難病法の施行により、特定医療費（指定難病）の対象疾病が306疾病に拡大された。また、障害福祉サービスの対象となる難病も332疾病に拡大されている。そのことから訪問対象とすべき疾病の増加により、支援対象者も増加したため、ニーズに対応するためには訪問を充実させていく必要がある。また難病患者の在宅療養支援は専門的な知識が必要であり、日常生活や療養生活の支援を実施するためには、専門スタッフの養成も必要である。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>特定医療費(指定難病)の対象疾病が拡大されたことを受け、27年4月からは従来の神経難病16疾病から27疾病に対象疾病を拡大して訪問指導を実施する予定である。</p>